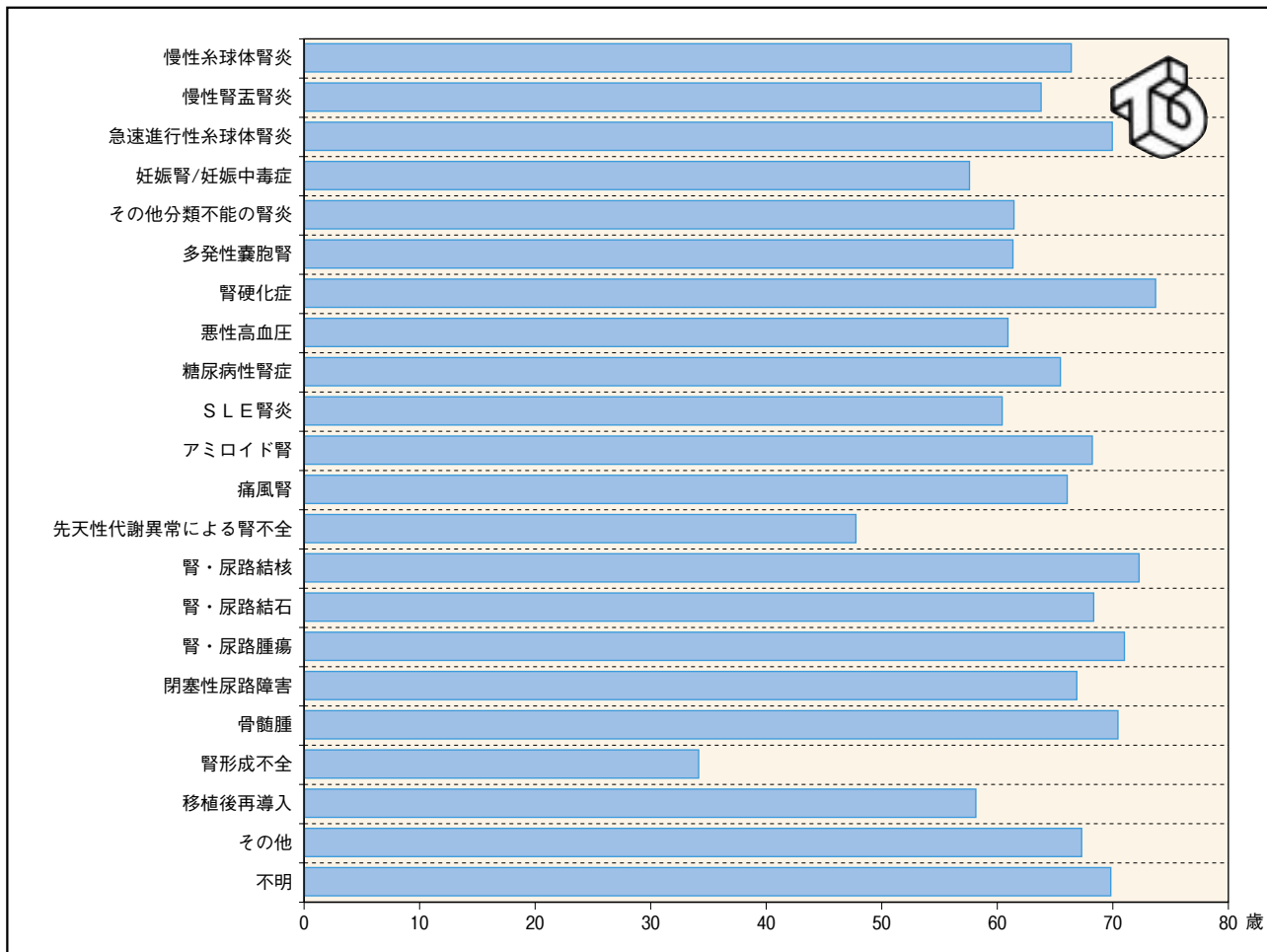


3) 導入患者の現状

(2) 導入患者の原疾患と平均年齢 (図表10)



原疾患	患者数 (%)	平均年齢	標準偏差
慢性糸球体腎炎	8,721 (24.0)	66.36	14.35
慢性腎盂腎炎	266 (0.7)	63.75	15.06
急速進行性糸球体腎炎	467 (1.3)	69.91	14.43
妊娠腎/妊娠中毒症	67 (0.2)	57.55	13.70
その他分類不能の腎炎	151 (0.4)	61.40	20.42
多発性嚢胞腎	829 (2.3)	61.31	13.28
腎硬化症	3,631 (10.0)	73.66	11.63
悪性高血圧	252 (0.7)	60.88	16.64
糖尿病性腎症	15,750 (43.4)	65.42	11.50
SLE腎炎	311 (0.9)	60.38	15.86
アミロイド腎	166 (0.5)	68.18	9.27
痛風腎	106 (0.3)	66.01	12.71
先天性代謝異常による腎不全	32 (0.1)	47.72	22.03

原疾患	患者数 (%)	平均年齢	標準偏差
腎・尿路結核	22 (0.1)	72.23	9.95
腎・尿路結石	66 (0.2)	68.30	12.61
腎・尿路腫瘍	163 (0.4)	70.96	11.82
閉塞性尿路障害	101 (0.3)	66.84	16.14
骨髄腫	140 (0.4)	70.40	9.33
腎形成不全	64 (0.2)	34.11	27.20
移植後再導入	262 (0.7)	58.10	16.75
その他	1,036 (2.9)	67.26	15.46
不明	3,690 (10.2)	69.78	13.46
合計	36,293 (100.0)	66.76	13.33
記載なし	144	69.69	11.07
総計	36,437	66.78	13.33

患者調査による集計

数値右のカッコ内は列方向の合計に対する%です。

解説

導入患者の原疾患別人数と平均年齢

透析に導入された患者の原疾患の第一位は糖尿病性腎症で43.4% (前年より0.5%増)、第二位が慢性糸球体腎炎で24.0% (1.6%減)、不明が10.2% (0.3%増)、腎硬化症が10.0% (0.6%増)であった。糖尿病性腎症と腎硬化症の割合が増加する傾向が持続し、慢性糸球体腎炎が減少した。原因疾患不明の割合も漸増している。

導入時の平均年齢は、糖尿病性腎症で65.4歳 (前年より0.2歳増)、慢性糸球体腎炎で66.4歳 (0.5歳増)であった。腎硬化症の平均年齢は73.7歳で前年より0.1歳減少した。比較的若年で導入されているのは、腎形成不全、先天性代謝異常による腎不全などの先天異常によるものであった。移植後再導入例も58.1歳で前年より3.9歳増加した。